

パーキンソン病でヴィアレブ®を処方された患者さんの治療のため、当院に入院・通院された患者さんのカルテを用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 形成外科
氏名 三宅啓介

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんのカルテを用いた下記の医学系研究を、倫理委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2024 年 3 月より 2025 年 7 月までの間に、当院にてパーキンソン病等の治療のため、ヴィアレブの処方を受けた方

2 研究課題名

研究課題名 ヴィアレブ®導入患者の皮膚軟部組織感染症に関する後方調査

3 研究実施機関

済生会松山病院

4 本研究の意義、目的、方法

ヴィアレブを処方された患者さんの副作用のうち、皮膚軟部組織感染症に対する問題を調査することにより、副作用の対処方法に対する知見を集めます。調査はカルテを調べることにより行います（文献調査）。

5 協力をお願いする内容

研究のため、診療カルテ情報を収集します

6 本研究の実施期間

西暦 2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名および患者番号、臨床写真のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの治療経過記録は、写真の顔情報を含め、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

【三宅啓介 濟生会松山病院形成外科 089-951-6111】

以上